



2024.12.17

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

食品ロス削減にご協力を

今年もあと少しで終わり、新しい年がやってきます。この時期は忘年会、クリスマス、新年会などの会が続きごちそうを食べる機会が増えます。気になるのは体重？健康？飲み過ぎや食べ過ぎに要注意です。私もこの時期、仕事上〇〇会に参加する機会が多く、実は申し訳ないなあと心の中で「ごめんなさい。」と手を合わせているのです。それは食品ロスです。

日本での食品ロスの実態をご存じでしょうか。農林水産省によると、日本では1年間に約612トン、東京ドーム約5杯分です。国民一人あたりによるとお茶碗一杯分(124g)を毎日捨てられることに相当します。食品ロスへの日本の取り組みは国として、2000年度の食品ロス量を2030年までに半減する目標を設定しています。その方法として『①食べ残しのお持ち帰り ②商慣習見直し(賞味期限の年月表示化の取り組みや納品期限の緩和等) ③フードドライブ・フードバンクの活用 ④手前取り(商品を手前から取る) ⑤買い物する前に冷蔵庫をチェック』を推奨しています。食べ残しの持ち帰りについては、厚生労働省は今年の12月6日にガイドライン案を決めました。持ち帰りは消費者の自己責任を前提とした上で、食中毒や異物混入を防ぐための留意点などは店側の指示に従う事、また容器も店側が用意したもので持ち帰るとなっています。



私も食品ロス削減のために次のことを実践しています。例えば県庁での昼食は、全員同じもの(割り後弁当が多)が出るので、あらかじめ量を決めておいて、食べないものは先に容器に入れて持ち帰り、夕飯の一品にします。また外食時はお願いできるところはご飯を半分にしてもらうなど、残さない工夫をしています。

現在、世界各地で起きている紛争、経済ショック、気候危機、そして肥料の価格高騰が重なり、かつてないほどの前例のない食料危機を引き起こしています。世界では最大7億8300万人の人びとが飢餓に苦しんでいます。少しでも自分ができることで、食品ロス削減に協力しようと思います。

みんなをもりあげ隊

先週、ある女性会の定例会並びに忘年会があり参加しました。その会は3つの委員会に分かれており、委員会ごとに何か出し物を企画し、発表するという会でした。みんなと一緒に発表できるものをしようと、私が『手品』を提案したのです。集まって練習する時間がないので、手品を説明するためにスマホで自撮り録画をして、委員会のメンバーにラインで送りました。「不思議？どうなってるの？できるのかしら？」と不安の声もありましたが、当日早めに集まって練習しようということになりました。

忘年会当日、早く集まった人にはちょっと複雑な手品を、ぎりぎりにしか来られない人には簡単な手品を用意して、みんなで練習したのです。果たして本番は・・・？なんと全員が見事に手品を成功させ、会場が大いに盛り上がりました。ある方からは、今度手品の道具を貸してほしいと頼まれたほどです。

私は皆さんを楽しませる企画を考えるのが大好きで、それはいつからだろうと記憶をさかのぼってみました。多分小学6年生の時だと思います。学級会でお楽しみ会の企画担当を任せられ、毎月何をしてみんなを盛り上げようかと考えていました。中学校や高校の文化祭でも「みんなを楽しませたい。盛り上げたい。」とあれこれ友達と企画してきました。そして現在に至る、です。

毎月の誕生会の手品も、園児や保護者の皆様はどうやって楽しんでもらうか、自分も楽しみながら考えるこの時間が最高です。来月もまた頑張りま〜す!!



今年1年、保護者の皆様にはご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。来年も皆様にとって、幸せな年になりますようお祈り申し上げます。よいお年をお迎えください。